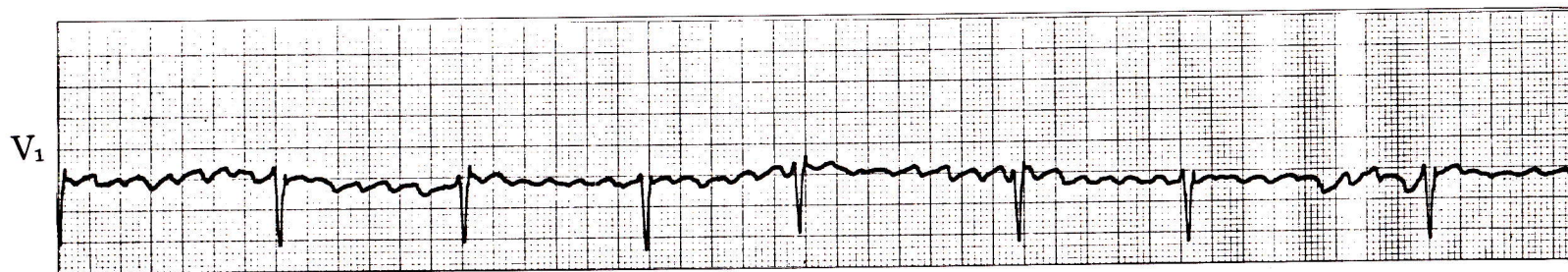


症例 26

●50歳 女

僧帽弁狭窄兼閉鎖不全症のため約6年前よりジギタリス剤を服用している。



- 1) このリズムは何か。
- 2) この状態で心不全徴候があるとすればジギタリス剤はどうすればよいか。

心電図診断

心房細動(徐脈性)

QRS波に1対1に対応するP波は認められず、基線の細かいゆれ(f波)が認められる。RR間隔は全く不規則である。→心房細動。

RR間隔は1.0秒～1.6秒。心拍数は約50/分。

解 説

ジギタリス投与中に、このように徐脈傾向がでてきた場合には、ジギタリス過剰の可能性が強いため、ジギタリス剤を減量するか、一時中止してみる。心不全は安静および利尿剤の投与によりコントロールした方がよい。ジギタリス過剰ではないと考えられる症例や、ジギタリス剤の投与を受けていない症例では、ジギタリス剤の増量もしくは投与をしてもよいが、ジギタリス剤の徐脈作用を考慮して慎重に投与しなければならない。